

多田誠司 alto sax  
 菊池大光 piano  
 楠井五月 contrabass

2023 06月21日 (水)

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
 必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
 ご記載下さい。



菊池太光

1985年生まれ。小学校からクラシックピアノを習いはじめ高校まで続ける。高校2年のおわりに友人から勧められて聴いたオスカーピーターソンのCDに感動し、ジャズピアニストを志す。現在はSK4、菅原高志 PEACE、伊藤勇司カルテット、西川直人トリオ、自己のトリオ、その他多くのセッションで活動中。これまでの主な共演者は、岡崎好朗、佐藤洋祐、山口真文、川嶋哲郎、多田誠司、中村健吾、楠井五月、原大力、菅原高志、西川直人等。

多田誠司

1960年、香川県高松市生まれ。香川大学付属高松中学、高松高校を通じて吹奏楽部でFluteおよび指揮者を担当する。岡山大学入学と同時にJAZZ研究会に入部。20才の時AltoSaxに転向する。大学卒業後、1988年上京。都内ライブハウスで活動を開始する。1994年10月にはドラムの猪俣猛氏の『Japan Just Jazz All Stars』の一員として国際交流金主催のメキシコ公演に参加、大成功を収める。1996年3月には大西順子(P)QUINTETの一員としてBLUENOTE 東京・福岡・大阪の3週間にわたるツアーに参加。Marcus Belgrave(Tp),Rodney Whitaker(B)らと共に演奏し交流を深める。また1997年5月にもJAZZWORKSHOPの一員として二年連続でBLUENOTE公演に参加。さらに高い評価を得る。1997年6月、待望の初リーダー作『THE GIG』を東芝EMIより発売。SWINGJOURNAL誌主催、97年度「日本ジャズ賞」部門で第三位に入るなど、各方面より絶賛される。98年4月には来日中のBranfordMarsalisがこのアルバムを絶賛し、BLUENOTE 東京にて共演するチャンスにも恵まれた。また世界的トランペッター日野皓正に認められ1999年から2009年まで彼のグループにレギュラーメンバーとして参加。2005,2009年には佐藤允彦 SAIFAの一員として欧州ツアーに参加するなど海外でも数多く活動する。現在リーダーバンドとしてOakly, Taurus, PhoneBone, スガダイローとのデュオ、松本茜とのデュオ、等。

楠井五月

1985年5月16日 北海道旭川市生まれ。幼少期にエレクトーン、中学からエレキベースを演奏し、法政大学ジャズスタディクラブに入学後コントラバスを弾き始める。井上陽介氏に師事し、在学中よりプロとして演奏活動を開始。2011年より、エルヴィンジョーンズとの長年の共演で知られる辛島文雄 (Piano) 氏のトリオに加入し、毎年二ヶ月に渡る全国ツアーに参加。小松伸之 (Drums) と共に晩年のリズムセクションを務め、アルバム計三枚のレコーディングに参加。TOKU (Vocal,Flugelhorn), 谷口英治 (Clarinet), Grace Mahya (Vocal), 若井優也 (Piano), 菊池太光 (Piano), 魚返明末 (Piano) 各氏のバンドや多数のセッション、レコーディングなどで活動中。Vladimir Shafranov (Piano) Brenna Whitaker (Vocal) を始めとして海外ミュージシャンの来日公演のサポートも数多く務める。また、東京都内を中心に自身のリーダーバンドの活動も精力的に行っている。2017年初リーダー作となる「Satsuki Kusui & Vladimir Shafranov」を発表。共同リーダーを務めるバンド「SK4」では現時点で2枚のアルバムをリリース、海外公演を成功させるなど、活躍の場がますます広がっている。ホットミュージックスクール、飯田ジャズスクールで講師も務め、各地でのワークショップを行うなど、後進の育成にも力を注いでいる。